



自民党

TOKAメールは 衆議院議員 とかしきなおみの政治活動を報告しています。 <討議資料>

衆議院議員 自民党大阪7区(吹田市・摂津市)支部長

とかしき なおみ

とかしきなおみ後援会事務所 〒564-0026 吹田市高浜町9-16 TEL.06-6319-1535 FAX.06-6319-1536



「ヨーロッパの都市が再度ロックダウンする中、世界は日本のコロナ対策を評して、奇跡の成功!と言っています」と語ったのは、先日わたしの議員会館の部屋に来られた欧州の会社の方でした。『ヨーロッパや米国と比較して、死者数は2桁もの違いがでています。しかし驚いたことに、日本人は自国がコロナ対策について諸外国と比べ

て大失敗している国!と勝手に思い込んでいるのです。これには正直驚いています』この言葉には私も思わず苦笑してしまいました



た。確かに日本人が持つ自国の評価と、外国人から見る日本の評価は、大きく食い違う事があまりにも多い気がします。

なぜ、このギャップが生まれるのか…厚生労働省と環境省の2つの省庁で働いた経験をもとに改めて考えるとその理由が見えてきました。それは「仕事は、単に完了して終わりではなく、終わった仕事の

コロナ禍における我が国の評価

内容を相手に伝えてから完了する」という事です。官庁の仕事は、常に前に進む事が最優先とされ、終わったら反省する暇もなく終了してしまいます。「伝える」努力を怠ってしまった為に、国内外での情報のギャップを生じてしまったのではないかと思います。



9月16日に菅義偉内閣が誕生しました。動き出した菅政権は矢継ぎ早に、コロナ対策に加え、デジタル化促進、携帯料金の値下げ、不妊治療の保険適用、行政改革など、多くの政策が一気に進みはじめています。せっかく新たな政策に取り組むのですから、是非とも「伝える事」には一工夫して頂きたいと思います。

私は、今回の人事では衆議院の厚生労働委員長に内定しました。コロナ対策の中にも、情報の

発信には多くの課題があります。これらの問題を是正する為に、法案審査含め委員会で中身の濃い議論ができるように、邁進してまいります。引き続きご指導の程、宜しくお願い致します。

